

# うめきた2期地区等スマートシティモデル実証実験(うめきた2期地区等スマートシティ形成協議会)

## ■ 都市課題

- 市民のQOL向上による「関わり続けたい」まちづくり、イノベーションによる関西経済の浮揚

## ■ 解決方策

- ヒューマンデータの利活用**：ヒューマンデータを収集し、市民のQOL向上や事業創出につなげる仕組の構築を図る
- まちの貢献ポイントの導入**：市民のQOL向上と地域活性化に向けた「まちの貢献ポイント」の導入を図ることにより、市民のまちの活動への積極参画を促進する

## ■ KPI

- 集客効率**：人流データを使わない場合と比べ、人流データ活用により**2倍以上**の効率で集客を実現する。
- 貢献活動数**：アプリを通じた「貢献」に資する活動実績**1000件以上**

## ■ 実証実験の概要・目的

市民のQOL向上による「関わり続けたい」まちづくり、イノベーションによる関西経済の浮揚という課題に対する施策として掲げている「ヒューマンデータの利活用」「まちの貢献ポイントの導入」に関する実証を今年度を実施。

## ■ 実証実験の内容

本実証では、市民のQOL向上、地域活性化を実現するまちの持続的運営を見据え、様々な事業者における位置情報活用の有効性や「貢献ポイント」の有効性検証を行った。

行動情報等を用いた高度なエリアマネジメントの実現及び継続的なビジネスモデル確立に向けた検証

### ① 人流の可視化・利活用検討

高精細な人流データ収集  
(IoTセンサー、GPS)

#### 分析・可視化

- | 来訪者理解  | 施設人流理解   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>人数×属性分布</li> <li>居住地・勤務地</li> <li>行動特性 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>混雑</li> <li>回遊</li> <li>来訪交通手段</li> </ul> |

#### 関連事業者との有効性協議

- |        |           |
|--------|-----------|
| 施設運営者  | エリマネ団体    |
| 商業テナント | その他 (行政等) |

### ② 行動変容施策と効果の検証

貢献ポイントによる施策展開

- アプリ配布 「貢献」活動参加によるポイント付与
- ボランティア
  - イベント参加
  - 来街者
  - 健康増進活動 等
  - 就労者

#### 効果検証

- 各種活動データ  
ポイントの交換可否等による効果検証

## ■ 実証実験で得られた成果・知見

### ① 人流の可視化・利活用検討

#### エリアの人流可視化

人の量や属性分布、流れ等を可視化。施設運営・防災・エリマネ等の観点での活用可能性を確認

#### 建物内の人流可視化

#### イベントへの集客及び来訪者可視化

人流活用により効果的な集客を実現 (約6倍の費用対効果)

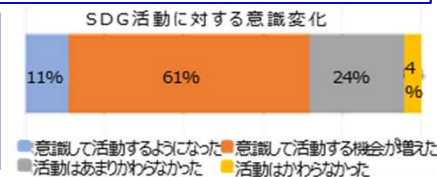
### ② 行動変容施策と効果の検証

#### ポイント付与による行動変容効果

- SDGsアクション等の活動を誘発 (延べ1475件)
- SDGsを意識して「活動することが習慣になった」「活動する機会が増えた」が7割以上

#### ポイント利用先の汎用度の違いによる行動変容効果

- 汎用性の高い外部ポイントの導入により活動量、利用ともに増加(ポイント付与件数1.7倍、ポイント利用件数1.3倍)



## ■ 今後の予定

2023年度

実装に向けた詳細検討

⇒サービス開発、アプリ/貢献ポイント管理システム開発、IoTセンサー導入、等

2024年度

うめきた2期における運用

※先行まちびらき